

# 区議会だより

発行/江戸川区議会  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

## 226号の 主な記事

- 第2回定例会概要、議長・副議長就任あいさつ... 1ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～6ページ
- 委員会構成名簿、第1回臨時会概要、議員提出議案の概要..... 7ページ
- 江戸川区議会会派等別議員一覧..... 8ページ

### 第2回定例会日程

- 6月12日..... 議案上程、委員会付託、表決
- 14日..... 代表質問
- 15日..... 一般質問、表決
- 19日..... 議案審査
- 20日..... 請願・陳情等の審査
- 27日..... 委員会報告及び表決

## 平成29年第2回定例会

# 補正予算を含む議案13件を可決

### 「東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について」を可決

平成29年第2回定例会は6月12日から27日までの16日間の会期で開きました。

この定例会には区長から、瑞江第三中学校施設改築費などを計上した補正予算を含む10件の議案、諮問1件、同意1件と報告6件が提出されました。

これらの議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議員からは「東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について」を含む2件の議案を提出し、継続審査となった1件を除き、全会一致で可決しました。

この定例会の会議録は、9月中旬にできあがり、詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館または区議会事務局をご覧ください。



小松川境川親水公園 (撮影：野寺治孝)

## 議長・副議長就任あいさつ



ふじさわ進一議長

このたび、平成29年第1回臨時会におきまして、議長、副議長に選出されました。誠に光栄に存じますとともに、職務の重責に身の引き締まる思いであります。

さて、江戸川区議会はこれまで、本会議インターネット中継への手話通訳の導入に加え、予算・決算特別委員会についても会議の様子をリアルタイムでご覧いただけるよう、インターネットでの中継を開始するなど、開かれた議会づくりに取り組んでまいりました。また、大規模災害への備えとして、江戸川区総合防災訓練に区議会全体で参加し、情報収集訓練や参集訓練などの災害発生を想定した訓練の実施や区の防災訓練では災害対策本部を立ち上げるなど、区民の皆様の安全・安心に資する取り組みを進

めて参りました。総合的な子どもの貧困対策や教育環境、長年の課題である水害対策など、区の抱える課題は多岐に渡りますが、常に現場の視点と感覚を大切に、より区民の皆様の期待と信頼を集められる議会づくりを進めてまいります。

また、日本中が待ち望む東京オリンピック・パラリンピックの開催まで3年と迫ってまいりました。世界的なイベントが本区で開催されることは大変誇らしく思います。豊かな自然と伝統文化などの江戸川区の魅力の世界中に発信する素晴らしい機会であるとともに、本区にとって大きな挑戦であります。区民の皆様とともに、江戸川区全体でおもてなしの心を持ち、大会の成功に全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



伊藤てる子副議長

**議案等の概要と結果**  
(○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、民進…民進党、共産…日本共産党  
江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク

(議長を除く 計 43 名)

件名	概要	自	公	民	共	江	生	無	賛	反	結
		民	明	進	産	戸	ネ	所属			
		14名	13名	5名	5名	4名	2名	1名			
<b>区長提出議案</b>											
予算	平成29年度江戸川区一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
	平成29年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
条例(新規)	江戸川区一般職の任期付職員の採用に関する条例	○	○	○	×	○*	○	○	37	5	可決
	江戸川区立林間学校条例を廃止する条例	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
条例(一部改正)	江戸川区職員の退職手当に関する条例	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
	江戸川区小松川区民施設条例	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
契約	江戸川区立葛西小学校・葛西中学校改築工事請負契約	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
	江戸川区立葛西小学校・葛西中学校改築に伴う電気設備工事請負契約	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
	江戸川区立葛西小学校・葛西中学校改築に伴う機械設備工事請負契約	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
	松本橋架替工事(その2)請負契約	○	○	○	○	○*	○	○	42	0	可決
諮問	生活保護費返還金の督促処分についての審査請求に係る諮問	○	○	○	○	○	○	○	43	0	妥当
同意	江戸川区農業委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	43	0	同意
報告	専決処分した事件の報告	/									
	放棄した私債権の報告										
	平成28年度江戸川区一般会計の継続費の繰越使用										
	平成28年度江戸川区一般会計の繰越明許費の繰越使用										
	平成28年度江戸川区一般会計の事故繰越の繰越使用										
議決を得た契約の契約変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸川区立第三松江小学校改築に伴う電気設備工事</li> <li>江戸川区立第三松江小学校改築に伴う機械設備工事</li> <li>江戸川区立第三松江小学校改築工事</li> <li>江戸川区立篠崎第三小学校改築工事</li> <li>江戸川区立篠崎第三小学校改築に伴う電気設備工事</li> <li>江戸川区立篠崎第三小学校改築に伴う機械設備工事</li> <li>仮称江戸川区船堀地区複合区民施設新築工事</li> <li>仮称江戸川区船堀地区複合区民施設新築に伴う機械設備工事</li> <li>松本橋架替工事</li> </ul>										
<b>議員提出議案</b>											
26号	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決

\*江戸川クラブの一議員棄権

**皆さんから出された請願・陳情**

●新たに受理されたもの

付託委員会

92号 都市計画道路補助第283号線拡幅計画の断念を求める陳情

建設委員会

93号 内水氾濫の対策に排水機場の新設を求める陳情

建設委員会

完成できないスーパー堤防に代わる新工法(アーマー・レビー)の提案と、この提案を真摯に受け止め委員会での真剣な検討を求める陳情  
建設委員会

## 区政への質問

6月14日に代表質問、15日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

### 代表質問

#### 地域で活躍する人に光を当てる 区政功労者表彰を



自由民主党  
島村 和成

区 江戸川区区政功労者表彰は、区政に貢献し、区民の生活と文化の向上に功労顕著なものを表彰する制度である。これまでに二度の条例改正をしているが、昨今の時代背景に合わせ、推薦基準の一部改正が必要である。地域振興や教育文化など、地域で活躍する方に光をあてるため、推薦基準の年数等について弾力的な運用を。

答 区政の分野を超えて活躍されている方や表彰基準の25年に満たなくても表彰に値する方がいることは認識している。功労顕著な方に受賞していただくためにも表彰基準年数に関わらず、多大な貢献を総合的に判断していくよう意を用いていく。

問 本年4月に区が公表した「公共施設が抱える課題と今後の検討の方向性」によると平井地区の公共施設は老朽化が目立ち、学校施設とともに建替えが必要であるとされている。小松川区民館や図書館、葛西清掃事務所などは建設されてから45年以上経過していることから、近い将来移転・改築予定の小松川第一中学校跡地に、これら施設の合築を。

答 小松川平井地域に必要な中学校数を見定めた後に学校統廃合の協議を進めるため、現段階では小松川第一中学校跡地の具体的な活用方法は、地域での議論を待ってからになる。

問 江戸川区にゆかりのある落語家の自宅を活用して落語文化を広めるとともに、地域活性化を図るため、平成29年7月に公開予定の「ひらい園蔵亭」の購入に至った経緯と今後の活用方法は。

答 本区で生まれ育ち、文化活動を推進して下さった橘家園蔵師匠の足跡が本区から消えないよう、遺族から土地建物を購入し、公園施設の一つとして設けることとなった。活用方法について関係者と協議し、区民の皆様に喜ばれる施設運営を進めていきたい。

問 本区は5月31日に「スポーツチャレンジャー」に参加し、このイベントを機に多くの区民がスポーツに親しみ、自身の健康に役立てることができた。広大な河川敷や多くの公園、スポーツ施設に恵まれた本区的环境を活かし、継続的な運動やスポーツの習慣化を図るために、来年も「スポーツチャレンジャー」を実施すべきであると考えますが、今回の参加に対する感想と次回の参加への決意は。



スポーツチャレンジャーの継続

答 多くの区民の皆様に協力していただいたが、0.4%差で逆転負けを喫した。負けて引き下がる江戸川区ではないという心意気を示すとともに、区民の一体感や心意気を後の世代にも残していくために来年も挑戦したい。

問 3月に告示された新学習指導要領では、社会に開かれた教育課程等の理念に基づき、子どもたちの「生きる力」を育むため、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが求められている。このような理念に対する考えと、理念の実現に向けた学校教育の進め方は。

答 新学習指導要領に基づく教育を全校で適切に展開し、子ども一人一人の未来社会を切り開く資質・能力を伸ばしていく。また、教員の学習指導要領の理解促進や教育課題実践推進校の研究などを続け、主体的・対話的で深い学びのさらなる推進をしていく。

問 本区の「全国学力・学習状況調査」の結果は全国の平均正答率よりも下回っていた。この原因の一つに子どもたちの意欲が生まれにくい授業があると考えられるが、各学校の授業に対する課題認識は。また、今後どのように授業の改善・充実を進めるのか。

答 各小中学校で工夫した授業が展開されているが、一部課題のあることは認識している。「確かな学力向上プラン」に基づき、学校ごとに各教科の詳しい指導方法を作成するとともに、校長等と委員会を立ち上げ、学力向上の具体的な目標について検討していく。

#### 中央地域に新たな 賑わいの創造を!



公明党  
中道 たかし

問 公共施設の再配置と今後の整備について①人口増加に伴い行政需要が拡大した昭和30年と比較し、現在の生活スタイルや少子高齢化の進行、行政の役割などの変化についてどのような分析をしているか。また、統廃合や施設の複合化等さまざまな方策の検討を。

②施設運営の効率化を図ることで維持管理経費を削減するなど、長期的な視点に立った財政の平準化の取り組みを。

答 ①公共施設の再配置は本庁舎の移転や人口構造の変化、さまざまな社会変化への対応、財政的な問題など、幅広く議論していく必要があると考えている。

②すべての公共施設を現状通りに建替えた場合、3000億を超える費用が必要となるため、民間との協力などを検討していく。

問 本庁舎跡地に中央地域の区民課機能や健康サポートセンターなどの機能集約を図るとともに、グリーンパレス等の一部機能を複合施設として一体化することで、新たな賑わいを創造することができると考えるが、庁舎移転後の跡地利用についての考えは。

答 庁舎跡地の活用は地元の要望を踏まえ、賑わいのある複合施設建設に向けて幅広く議論していく。

問 昭和63年に姉妹都市締結をしてから教育・文化・産業など、幅広く交流を行ってきたゴス

フォード市が昨年5月にワイオン市と合併し、新たにセントラルコースト市となったが、今後の都市交流についての考えは。

答 セントラルコースト市を訪問し、ゴスフォード市の関係者からは関係の継続の要望を聞くことができたが、ワイオン市の関係者との協議はこれから。9月の選挙で市長が選ばれてから姉妹都市盟約の再締結にむけ、力強く取り組んでいく。

問 江戸川区男女共同参画推進計画について①2007年に策定された「江戸川区男女共同参画推進計画」の成果や課題を踏まえ、今年3月に策定された2017年からの「江戸川区男女共同参画推進計画」で重視する点は。

②男女共同参画の実現のために重要な人権教育や意識啓発の進め方は。

答 ①区民会議での提言を踏まえ、ワークライフバランスの推進や性的マイノリティへの理解など、今日的な課題に対する視点を加えて作成した。今後はあらゆる世代で差別なく、男女問わず互いに尊重できる社会に向け、区民・事業者・関係機関と連携し推進していく。

②人権教育の全体計画と年間指導計画に基づき、全小中学校で人権教育を行っている。教員に対しては年に4回人権教育研修を実施しており、今年度は女性を取り上げた研修を行い、男女共同参画への正しい理解と子どもたちへの正しい指導に努める。

問 文部科学省の「要保護の援助費補助要綱」の改正を踏まえ、本区においても要保護と同様、準要保護に対して新入学児童・生徒学用品費の小・中学校の入学前支給を。



新入学児童・生徒学用品費の  
入学前支給

答 入学前支給の場合、前々年の収入で審査認定するなどの課題があり、公平性の観点を踏まえ、現状のやり方を続けていく。

問 平成27年4月の介護保険法の改正等による熟年ふれあいセンター事業や熟年いきいきトレーニング事業の廃止について利用者への今後の周知やきめ細かい対応の進め方は。

答 ふれあい事業に代わる一人一人に合ったサービスを個別に紹介するとともに、事業を委託している関係機関に対しても新たな介護保険法の枠組みの中で事業継続の要望をしている。また、NPOやボランティア団体にも参加いただけるように検討していく。

#### 人口動態に応じた区政運営 と公共施設の老朽化対策



民進党  
神尾 てるあき

問 江戸川区の人口動態について

①本区の人口は2030年までに70万人を突破し、それをピークに減少傾向になると推測されている。今後の人口変動予測と人口動態に応じた区政運営に対する考えは。

②本区の高齢化率は20.8%で全国平均よりも

低く、0歳から14歳までの人口に占める割合は13.3%と全国平均より高いが、今後の人口動態に関連し、少子化・高齢化への対応をどのように進めていくのか。

答 ①本区の人口は平成42年の70万人をピークに減少し、少子高齢化も確実に進行していくと考えている。総合戦略に基づき、子育てや高齢者施策を進めていく。

②子育てしやすい環境づくりとともに、子どもたちの成長支援を丁寧に進めていく。高齢者に対しては地域包括ケアシステムの推進やリズム運動などの元気施策を拡充していく。

ユニバーサルサービスの推進について

①外国人のように言葉だけでは十分にコミュニケーションがとれない方への対応方法は、

②障がい者や難病患者などコミュニケーションをとることが難しい方へ配慮したユニバーサルサービスの積極的な取り組みを。



ユニバーサルサービスの推進

答 ①これまでも外国語対応が可能な職員の配置や多言語音声翻訳アプリの導入などを行ってきた。今後も職員の語学力の向上など、分かりやすく丁寧な窓口対応に努める。

②障害者差別解消法が目指す、障害のある方もない方も相互理解を深め、共生する社会の実現に向け、必要な環境整備を行っていく。

公共施設が抱える課題について

①区内公共施設の老朽化は大きな課題であり、施設の建替えと並行して本庁舎の移転や学校施設の改築計画を進めていく必要があるが、区内の公共施設が抱える課題に対する認識は、②建替え費用や人口動態を考慮した今後の公共施設のあり方についての考えは、

答 ①さまざまな分野の課題について区民の皆様や議会と協議していく。

②建替え費用の問題や民間との協力など、公共施設のあり方について合理的な形を模索し、魅力のある将来像を共有しながら探求すべき課題であると考えている。

憲法9条守れ、国保料引下げ、都営住宅増設



日本共産党 セバタ 勇

憲法9条の改定について

①首相の憲法9条改定の表明は憲法99条の憲法尊重擁護義務に違反する。区長は99条に基づき、9条を含む現行憲法を守る立場を。

②東京大空襲では本区でも多くの犠牲者を出し、当時の記録等は平和への祈りとして区民に語り継がれている。区民が受けた戦争被害の実相からも憲法9条の改定に明確に反対を。

答 ①多くの議論を経て、国民の同意によって結果が導き出されるものであり、どうするべきかを申し上げることはできない。

②戦争は起きてはいけなと考えている。憲法9条だけでなく、国際活動や同盟などによって平和は維持されており、憲法9条の問題だけで済まされる問題ではないと考えている。

国民健康保険の広域化について

①広域化による「納付金」や「標準保険料率」などの国民健康保険料に関する国への情報の公開請求を。また、保険料の値上げの見通しは、

②国民健康保険の国の負担割合を高めることを求めるとともに、保険料抑制のための特別区独自の公費繰入を。また、子どもの保険料の減免制度の検討を。国保料を通じ、貧困を把握し減免制度につながる行政を。

答 ①国が新しく作成するガイドラインに基づき算定をするため、現段階では積算できないが、新方式では保険料は上がると考えている。

②一般財源からの法定外繰入は今後も解消していくべきである。多子世帯等への支援は新制度が決まった後に検討していく。

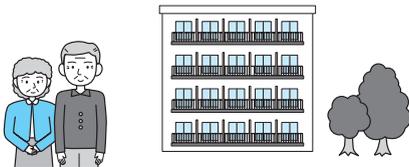
都営住宅が直面している問題について

①高齢化により、自治会の構成や運営が困難な状態に陥りつつある都営住宅自治会の実態調査の実施と新增設で若い世代の入居の要望を。

②高齢者世帯の多い都営住宅への特別な見守り体制の構築と福祉施設の増設を。

答 ①高齢化による都営住宅の問題は把握しており、さまざまな課題に対応していく。

②高齢化問題に等しく対応する。都営住宅のみを対象とした高齢者施策を行うことはできない。地域包括ケアシステムの中で取り組んでいく。



都営住宅が直面する問題

区民の生命と財産を護る！北朝鮮の脅威に毅然とした対応を！



江戸川クラブ 中津川 まさあき

答 北朝鮮の弾道ミサイル発射という状況をどう受け止め、区民の安全確保のために必要なことは何と考えるか。

答 弾道ミサイルを発射させないことが重要であり、国際的にさまざまな対応がされている。国民として対策を検討し、できることがあれば行動していく必要がある。

問 日本の伝統工芸品を再生するため、国は「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき、支援を進めてきたが、補助対象となるためには一定の条件がある。区としての伝統工芸品への支援方法と今後の展望は、

答 国の産業振興支援は、地域産業として確立している伝統工芸品への支援であるため、区では法律に基づいた支援はできない。これまで販路拡大等のさまざまな支援を実施してきたおり、今後もさらなる支援拡充に努める。

問 未成年者へのスマートフォン普及率や使用時間の延伸は、寝不足や頭痛等の体調不良などを引き起こし、学習面や健康面に悪影響を及ぼしている。「スマートフォン依存症」は早期発見・早期治療が重要であるが、区の対策は。また、都の「SNS東京ルール」を踏まえ、学校や家庭に対する取り組みの現状は、

答 全児童生徒が「江戸川っ子・家庭ルールづくり」に基づき、スマートフォンの適正利用等

のためのルールを作っている。今年度は毎学期7日以上「江戸川区家庭ルール習慣」を実施し、子どもたちへの定着を図っていく。



スマートフォン依存症への対応

問 全国的に独り暮らし高齢者が増加しており、今後、高齢者の孤独死が増えることが考えられる。町会・自治会と連携した見守り体制整備が重要であるが、「身寄りのない高齢者の孤独死」への対応と支援方法は、

答 これまで民生児童委員やふれあい訪問員等による個別訪問や緊急通報システム「マモルくん」による見守りを行ってきた。今後も地域と協力しながら見守り活動を充実させていくとともに、一人一人が望む最期を迎えられるように寄り添っていく。

一般質問

防災観点から庁舎早期移転を子どもの貧困対策の充実！



自由民主党 大西 洋平

問 これまで庁舎移転や公共施設の老朽化についてさまざまな議論がされており、区の示した「公共施設が抱える課題と今後の検討の方向性」では、施設の老朽化が大きな課題として取り上げられた。また、本庁舎は災害時の防災拠点であるため、一刻も早い対応が求められているが、庁舎跡地の活用も含めた今後の区内公共施設の適正配置の進め方は、

答 今年4月に公表した「公共施設の持つ課題と今後の検討の方向性」では、地区ごとの課題や方向性を示した。今後は庁舎の移転と並行し、公共施設の老朽化への対応や学校統廃合など、さまざまな形で地区ごとの課題を整理していく。施設の需要等を踏まえ、議会や区民の皆様と十分に議論を尽くしていく。

都市計画・まちづくりに関して

①都市計画事業決定間近の計画区域内であっても都市計画法の基準の範囲内であれば、新たな建築物を建てることできるが、仮に事業化決定目前の区域内に新たに建築物が建築される場合、事業進捗や完成を待ち望んでいる近隣住民が困惑するケースも考えられるため、情報を事前に把握するなど、地域ネットワークの強化が必要である。情報収集や関連部署との情報共有の進め方は、

②今年度中に事業認可の取得予定の都市計画道路補助288号線の上篠崎区間は本区の重要な区内循環路線地区であるが、早期整備に向けた今後の事業の進め方は、

答 ①建築計画の情報を取得次第、建築時期の調整や計画区域外での建築の相談、用地の先行買収等を行っている。また、都市計画道路事業の実施時期が近いことも周知している。事業認可取得までの準備期間において、関係部署と情報共有を行い、円滑な整備を進める。②都市計画道路は交通の円滑化、利便性の向上

に加え、防災面でも効果を発揮する。事業認可取得後に関係権利者の意向を確認の上、早期完成をめざし、事業を進めていく。

**図 体育の授業でのラグビーの実施は、2019年ラグビーワールドカップの日本開催に向けた気運醸成に加え、実際に楕円球に触れた子どもたちが、ラグビーを実際に見たときに感動等、得るものが何倍にも膨らむ大きい可能性がある。日本ラグビー協会と連携し、講師を派遣するなど、体育の授業でラグビーを実施し授業の充実を。**

☑ タグラグビーはチームで作戦を考え、工夫することからも大変意義があり、一部の小学校で実施している。今後はラグビー協会と協議し、タグラグビーを取り入れた授業の実施に向けて検討をしていきたい。

**図 子どもの貧困対策として、さまざまな支援が行われているが、朝食を食べたくても食べることができない子どもたちへの具体的な支援方法は。また、子どもの貧困の連鎖を断ち切るための今後の取り組みは。**

☑ 子どもたちへの食の支援として、仕出し弁当組合の協力による配食サービスや家庭の台所に入り、子どもたちと一緒に買い物から片付けまでを行うサービスを展開し、家庭や子どもに寄り添った支援を行う。貧困の連鎖を断ち切るために関係機関や地域と連携し、学習支援や食の支援を実施していく。

**図 現在区で行っている風疹予防接種経費の助成は女性に対してのみ行われているが、男性も風疹の抗体を持つことが予防にはより効果的である。女性だけに負担を強いるのではなく、男性の意識啓発も含め、男性への風疹予防接種助成制度の実施を。**

☑ 風疹が流行した平成25年には緊急対策として男女ともに無料で予防接種を実施した。女性に対する抗体検査や予防接種の費用一部助成は継続して実施している。パートナーや周りの人への予防の重要性を啓発していく。

### 小松川・平井地域の将来を見据えた展望を!!



公明党  
太田 きみひろ

**図 地域防災計画では、小中学校以外の公共施設が「避難所補完施設」として指定され、避難所の管理体制整備として業務管理者や指定管理者との連携についても明記された。「避難所補完施設」の災害時の受入体制や運営訓練など、今後、業務管理者や指定管理者とどのように連携していくのか。**

☑ 避難所補完施設の指定管理者等は協定等に基づき、災害時の対応を行う。また、実践訓練を重ねながら実効性を高めていく。

**図 東京都は2020年東京オリンピック・パラリンピックを目指し、2019年度までに動物の殺処分ゼロを目指す方針を打ち出した。本区においても動物愛護の観点から「動物の殺処分ゼロ」に向けた意識啓発を。**

☑ さまざまな方法で動物愛護の精神を啓発している。地域の協力のもと実施している「飼い主のいない猫対策」が区内全域に広がるようボランティア等と協力し取り組んでいく。

**図 本区では産後うつ対策として産後ケア事業や妊婦全数面接事業など、切れ目のない支援を**

**行っている。国の産後うつ予防のための健診費用助成開始を受け、本区においても産後うつ予防のための産婦健診導入を。**

☑ 妊婦全数面接や新生児訪問等の切れ目のない支援によりメンタル状況を把握し、必要に応じて産後ケア事業などの支援をしている。妊婦健診は事業を実施する中で必要性を見極めながら研究していく。

**図 本区のひとり親家庭支援を含めた、子どもの成長支援について**

①昨年度からなごみの家でも実施されている「子ども食堂」の区内の状況は。

②本当に支援が必要な子どもたちを支援するための今後の成長支援の進め方は。

☑ ①開催方法や実施内容はさまざまであるが、なごみの家のボランティアや町会・自治会など多くの方の協力のもと、区内12カ所で子ども食堂が実施されている。

②学習支援や居場所事業などを実施しており、今後も地域等と協力し、子どもたちの健やかな成長のための取り組みにまい進していく。

**図 学習障がいのある子ども達への今後の支援について**

①特別支援教室の巡回支援教員には学習障がいについての知識や指導方法の向上が必要であるが、今後の取り組みは。

②全教職員の発達障害に対する理解促進や巡回支援教員と学校の連携体制の構築のための今後の取り組みは。

③プライバシーに配慮した上で、発達障害児童の事例などを共有し、支援の場で活用を。

☑ ①障害種別に応じた研修などを行い、教員の専門性の向上を図っている。また、都が主催する研修への積極的な参加を促している。

②平成28年度から特別支援教育講習会を実施し、管理職等から全教員に対して伝達研修を行っている。今後、教員を対象とした説明会を実施し、巡回指導教員と各学校の教員の連携について意識を高めていく。

③特別支援教育の研修会で実践事例を取り上げ、教員同士が指導方法等について話し合う機会を設けていく。また、教員が自主的に学ぶ研究会においても、実践事例等を共有できる機会を設けられるよう働きかけていく。

**図 小松川・平井地域は再開発等でさまざまな変貌を遂げてきた一方で、小松川区民館や小松川図書館などの老朽化が進む公共施設の建替え等の課題があるが、小松川・平井地域の公共施設の再配置を含めた今後の展望は。**

☑ 駅に近く非常に発展性のある土地柄であり、議会や区民と良く議論し進めていく。

### かかりつけ薬剤師の推進と災害時の避難所運営



民進党  
小野塚 あやか

**図 日頃から病気の予防に取り組み、軽度な体調不良は自ら手当てを行う「セルフメディケーション」の推進のため、今年1月から対象となる医薬品を購入した方への新たな税制度が導入された。セルフメディケーションには、毎日の健康管理の習慣や医療・薬の知識が身につくことや国民医療費の抑制などの効果がある。一方で薬による副作用が生じた場合の対応や相談体制の整備が必要であることから、**

**薬剤師による区民の健康相談窓口の周知やかかりつけ薬剤師の推進を。**

☑ かかりつけ薬剤師は薬の服用等について、随時相談できるなど、在宅療養のために重要な制度であり、さまざまな形で啓発活動を行っている。今後は薬剤師会や医師会、歯科医師会と連携し普及啓発に努める。

**図 災害時の避難所運営について**

①避難所生活での健全な精神を維持するために仕切りや収納スペースを整備し、発達障害・精神障害の方に配慮したプライバシーの確保を。  
②避難生活では精神的な悩みや不安を抱える人も多く、自殺やうつ病といった二次災害が発生することもある。避難所生活におけるメンタルケアについての考えは。

③食物アレルギー対応が必要な方が一目でわかるような工夫や配慮に対する共通認識など、避難所におけるアレルギー対応の考えは。

☑ ①プライバシー管理は避難所の環境を確保するうえで重要であり、障害者だけでなく、女性の問題等からもプライバシー確保に意を用いていく。他と分離するスペースを作りプライバシーに配慮した環境整備を進めていく。

②関連死等の二次災害を防ぐため、関係機関や他自治体との積極的な連携などで避難者を孤立させないようなメンタルケアを心がけていく。

③食物アレルギーは、本人や保護者の責任において対処が必要である。区としては避難者名簿を作成し、避難所全体を把握する体制づくりに取り組んでおり、今後はアレルギー対応が必要な人が一目でわかるような工夫をするなど、課題に取り組んでいく。

### 介護保険の充実、教育費の軽減、教職員の増員を



日本共産党  
大橋 みえ子

**図 介護保険制度、高齢者施策について**

①介護保険制度改定によるサービス抑制や高齢者負担増加についての考えは。

②熟年ふれあいセンター等の事業廃止後も利用者が引き続き、さまざまな活動に参加できるような受け皿を。また、利用料設定の考えと、新事業の担い手や質の確保の具体策は。

☑ ①持続可能性の確保という制度改正の趣旨に沿って、本区の介護保険事業を構築する。

②NPOやボランティア等が主体となり、さまざまなサービスを提供し、地域全体で介護保険制度を支える。利用料はサービス費の1割負担である。研修等を実施し質を確保する。

**図 教育行政について**

①予算を確保し教育費の無償化を。就学援助入学学用品費の前倒し支給と金額の増額を。

②教員の勤務時間や労働環境等の実態調査を。  
③部活動のあり方と指導員配置の検討を。

④区の独自予算で学校図書館司書の全校配置やスクールソーシャルワーカーの増員を。

⑤情緒障害等通級指導学級の特別支援教室への移行にあたり、巡回指導の検証結果と課題は。また、小人数指導についての保護者への説明と通級学級で使われていた設備の活用を。

⑥特別支援教室への教員加配について、都への要望の継続と区費での講師配置を。

☑ ①教育費の無償化は国が決めることである。

就学援助に関する文科省の通知は、要保護への支給であり、すでに実施している。

- ②都が実施予定の調査結果を注視していく。
- ③国・都が部活動のあり方についてガイドラインを策定する予定。それを待って対応する。
- ④費用対効果や課題の検証が必要であり、その結果を踏まえた上で、検討していく。
- ⑤参加児童数の増加等の効果があった。指導教員の育成に必要な研修等を実施していく。また保護者全体へは新システムの説明の中で小人数指導について話をする。特別支援教室はエンカレッジルームを活用していく。

⑥都への要望や区独自の配置予定はない。  
**区 小中学生へのスポーツの場や機会の提供について区の取り組みは。**

野球場やサッカー場の数は都内で最も多い。関係団体と連携し、環境整備に努める。

### 生命と財産を守るスーパー堤防事業の早期完成を!



江戸川クラブ  
岩田 まさかず

これまで日本では、公共事業は無駄である、財政悪化を招くといった根拠や証明のない公共事業不要論が長らく叫ばれてきた。スーパー堤防事業は民主党政権時に「200年に一度の水害に備えるために、400年かけて堤防を作る意味はない」との理由で事業が廃止されたが、武田信玄が山梨県内に築いた「信玄堤」などは現在でも機能を果たしている。スーパー堤防事業は税金の無駄遣いで必要悪との声がある中、事業をどのように推進していくのか。また、

公共事業は時に地域に紛争をもたらし、地域コミュニティが分断されることがある。このような地域コミュニティの分断を回避するためには住民間の対話や未来ある地域ビジョンの共有が必要である。現在、上篠崎一丁目北部土地区画整理事業において、スーパー堤防事業の推進派と反対派で地域が二分しているが、両者ともに地域に対する強い思いと情熱を持っている。結論を急がず、推進派と反対派が協議を重ねることで、上篠崎地区の未来の地域ビジョンを描くことができると考えるが、スーパー堤防事業に対する区長の覚悟と100年200年後の子や孫へのメッセージは。

徳川家康が銚子方面に利根川の放水路を開削してから400年が経過した。また、都心を守るために行われた荒川の放水路事業から約100年が経過した。この2つの河川は東京を守ってきた。このように治水事業は将来を見据えた積み重ねにより、安全を守っていくものであり、水害に弱い本区にとってスーパー堤防は欠かすことができないものであると考えている。治水対策は一朝一夕でできるものではないが、将来の人々のために今できることを続けていくことが、一番大切であるという覚悟を持ち、事業を進めていく。



### 配慮を要する子どもの幼稚園受け入れと新川沿川整備



生活者ネットワーク  
本西 みつえ

幼稚園での配慮を要する子どもの受け入れ  
①等しく幼児教育を保障するために専門家を含めた就園検討委員会の設置を。

②今年船堀幼稚園には15人の配慮を要する子どもが入園。障害者差別解消法の合理的配慮の観点からも補助教員・介助員の配置を。

③私立幼稚園にも積極的な受入を求めるべき。  
 ④①面接時に聞き取り、必要に応じ関係機関と連携しているため、今の方法を続ける。

②必要なケースの場合、園と相談し対応する。

③発達障害相談センターと連携し、教職員への支援力向上など、意欲的に取り組んでいる。

#### 区 新川沿川整備について

①下水の流量に関して事前に行うべき協議がなされないまま実施された結果、下水管に負荷がかかっている。手続きも、住民への浸水の危険性の説明もなく問題。新川橋から東水門までの整備を当初の設計から変更した理由は。

②下水管に流れ込む水量が増加することについて都と協議した上で、工事を行ったのか。

③新川遊歩道は内水氾濫を誘発する可能性があるが、どのような認識で事業を進めたのか。

④①地域住民との協議の上、安全性や景観等を総合的に判断し、石積みの高さを下げた。

②現在、下水道局と協議している。

③内水氾濫の可能性を高める認識はない。

## 区議会を傍聴してみませんか

本会議及び委員会を傍聴することができます。  
傍聴は、次の時間より江戸川区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付をします。

- 本 会 議：開会日当日の正午以降
- 午前開催の委員会：開会日当日の午前8時30分以降
- 午後開催の委員会：開会日当日の正午以降

なお、定員がありますので詳しくはお問い合わせください。  
また、車いす等により、議場の傍聴席に入室が困難な方は、第5委員会室で映像による傍聴ができます。

問い合わせ：江戸川区議会事務局 庶務係 電話 5662-5556



## 区議会インターネット中継

区議会ホームページでは、定例会や臨時会、予算・決算特別委員会の映像を公開しています。過去の本会議等の録画中継はもちろんのこと本会議等開催日にはライブ中継もご覧いただけます。

また、平成27年第1回臨時会からは、より多くの方にご覧いただけるよう手話通訳の映像を合成して配信をしております。



# 各種委員会の構成

議長…ふじさわ進一

副議長…伊藤てる子

委員会名	常任委員会					議会運営委員会 (定数15名)	特別委員会			
	総務 (定数9名)	生活振興環境 (定数9名)	福祉健康 (定数9名)	文教 (定数9名)	建設 (定数8名)		行財政改革 (定数12名)	災害対策・街づくり推進 (定数12名)	熟年者支援 (定数12名)	子育て・教育力向上 (定数12名)
所管事項	経営企画部、危機管理室、総務部、選挙管理委員会、監査委員に関する事項及び他の委員会に属しない事項	環境部、生活振興部、農業委員会に関する事項	福祉部、子ども家庭部、健康部に関する事項	文化共育部、教育委員会に関する事項	都市開発部、土木部に関する事項	(1)議会の運営に関する事項 (2)議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 (3)議長の諮問に関する事項	(1)区の行財政改革に関する事項 (2)都区制度に関する事項 (3)構造改革特区制度に関する事項 (4)ICT化に関する事項 (5)公共施設のあり方に関する事項	(1)大規模災害対策に関する事項 (2)木造密集地域解消に関する事項 (3)土地区画整理事業、再開発事業及び都市計画道路の整備促進に関する事項 (4)スーパー堤防の整備促進に関する事項 (5)区内交通体系に関する事項 (6)南北交通の整備に関する事項	(1)健康の維持増進に関する事項 (2)生きがいの場充実にに関する事項 (3)介護支援の充実に関する事項	(1)子育て力向上に関する事項 (2)健全育成に関する事項 (3)学力向上に関する事項 (4)学校施設改築・学校再編に関する事項 (5)児童虐待防止に関する事項
委員長	島村和成	川瀬やすのり	中道たかし	渡部正明	はやかわ和江	田中寿一	田中じゅん子	えぞえ亮一	うざわ悦子	中山たかひと
副委員長	くぼた龍一	大西洋平	野崎まこと	太田きみひろ	堀江そういち	竹内すすむ	笹本ひさし	栗原ゆたか	セバタ勇	須田哲二
委員	栗原ゆたか 笹本ひさし 金井しげる 所たかひろ 田中寿一 セバタ勇 竹内すすむ	伊藤ひとみ 斉藤まさたか 須田哲二 中里省三 関根まみ子 うざわ悦子 須賀精二	小野塚あやか 本西みつえ ます秀行 佐々木ゆういち 伊藤てる子 小俣のり子 田島すすむ	中津川まさあき 神尾てるあき 大橋みえ子 福本みつひろ ふじさわ進一 須賀清次 田中じゅん子	岩田まさかず 牧野けんじ 竹平ちはる 中山たかひと えぞえ亮一 高木ひでたか	笹本ひさし 金井しげる 所たかひろ 中山たかひと 大西洋平 大橋みえ子 えぞえ亮一 堀江そういち 中道たかし 小俣のり子 うざわ悦子 はやかわ和江 島村和成	小野塚あやか 神尾てるあき 伊藤ひとみ 栗原ゆたか 所たかひろ 大橋みえ子 田中寿一 福本みつひろ 川瀬やすのり 田島すすむ	小野塚あやか 本西みつえ ます秀行 佐々木ゆういち くぼた龍一 高木ひでたか 小俣のり子 須賀精二 渡部正明	中津川まさあき 野崎まこと 金井しげる 竹平ちはる 大西洋平 斉藤まさたか 堀江そういち 関根まみ子 須賀清次 はやかわ和江	岩田まさかず 本西みつえ 野崎まこと 牧野けんじ 佐々木ゆういち 竹平ちはる 太田きみひろ 中里省三 竹内すすむ 島村和成

議会選出監査委員 斉藤まさたか 関根まみ子

## 平成29年第3回定例会開催予定

- 9月21日(木)…本会議(議案上程、委員会付託)
- 25日(月)…本会議(一般質問)
- 26日(火)…本会議(一般質問)
- 28・29日 } 決算審査
- 10月2・3・5・6・10・12日 }
- 13日(金)…常任委員会(議案審査)
- 16日(月)…各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 24日(火)…本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。  
 ※ 傍聴の受付は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

## 第1回臨時会の概要

平成29年第1回臨時会が5月26日に開かれました。  
 この議会では、新議長・副議長の選出のほか、任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任と、辞任による特別委員会委員の選任も行われました。また、議会選出の監査委員の選任に同意し、新監査委員に斉藤まさたか議員、関根まみ子議員が就任しました。

## 議員から提出され議決された議案

### ○東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について

東京都後期高齢者医療広域連合規約第8条第1項の規定に基づき、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙の候補者にふじさわ進一議員を推薦する。

# 江戸川区議会会派等別議員一覧

氏名	連絡先	所属
連電	話番	番号
当選	回数	回数

【◎幹事長 ☆団長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】

**区議会 自由民主党**  
14名  
直通(5662)5111  
<http://edogawa-jimin.jp/>

◎田中 寿一 船堀3-1-3 5679-0413 ③	○島村 和成 平井5-51-12 3617-3471 ⑦	○はやかわ和江 松本1-10-6 5678-0777 ④	△大西 洋平 篠崎町2-1-10-305 5664-2024 ②	△中山たかひと 西瑞江3-36-4 3677-0072 ②	栗原 ゆたか 中央3-5-2 3674-6025 ①	野崎 まこと 西葛西6-8-13-2F 3869-8125 ①
斉藤 ますたか 北小岩8-24-6 3672-5849 ③	福本 みつひろ 東葛西8-7-33 3877-0541 ④	高木 ひでたか 一之江5-7-17 5661-4608 ④	ふじさわ 進一 南小岩6-28-11 3658-0783 ④	須賀 精二 江戸川2-8-1 3679-8373 ⑥	田島 すずむ 鹿骨4-21-2 3670-7716 ⑦	渡部 正明 松島4-20-13 3653-9346 ⑦

**江戸川区議会 公明党**  
13名  
直通(5662)5112  
<http://www.e-komei.com/>

☆川瀬 やすのり 江戸川1-21-23 5636-5530 ⑤	◎竹内 すずむ 松江3-14-19 3652-6798 ⑤	□中道 たかし 大杉1-1-1-703 5607-0835 ③	○うざわ 悦子 東葛西6-10-18-701 3686-7461 ④	○堀江 そういち 西小岩2-17-1-603 3658-8597 ③	○所 たかひろ 新堀1-13-7 3670-0334 ②	佐々木 ゆういち 北葛西5-4-15 5605-9262 ②
竹平 ちはる 東小岩1-14-6 5876-7376 ②	太田 きみひろ 平井6-32-2 6657-2641 ②	くぼた 龍一 中葛西2-26-10-1005 3686-1939 ③	関根 まみ子 春江町4-18-10-102 3869-0978 ③	伊藤 てる子 中葛西5-2-7-309 6903-7742 ③	田中 じゅん子 上篠崎3-10-11 6638-7465 ⑤	

**区議会 民進党**  
5名  
直通(5662)5116

◎えぞえ 亮一 南篠崎町5-12-2-803 3677-6622 ③	○金井 しげる 南小岩3-15-20 6657-9897 ②	△中里 省三 松江3-12-3 6312-1486 ③	△神尾 てるあき 春江町3-32-3 5243-8311 ①	△小野塚 あやか 東葛西5-9-9-506 080-9817-8869 ①

**日本共産党 江戸川区議員団**  
5名  
直通(5662)5113  
<http://jcp-edogawa.com/>

◎小俣 のり子 中央2-7-5 3655-4422 ④	○大橋 みえ子 中葛西8-6-2 5674-3753 ②	△セバタ 勇 平井2-17-3 3637-4050 ⑨	牧野 けんじ 東小岩3-13-9 6331-1791 ①	須田 哲二 篠崎町5-14-10-1003 3677-2616 ④

**江戸川クラブ**  
4名  
直通(5662)0074

◎笹本 ひさし 北小岩6-16-1-2F 5668-2636 ③	○中津川まさあき 南篠崎町1-22-2 3678-1660 ②	△岩田まさかず 上篠崎3-9-13 3679-3223 ①	ます 秀行 南葛西4-21-3-402 6662-7890 ②

**生活者ネットワーク**  
2名  
直通(5662)2752  
<http://edogawa.seikatsusha.me/>

◎伊藤 ひとみ 南葛西6-17-15-204 3675-9220 ①	○本西 みつえ 東小松川3-35-13-205 5607-5975 ①

**無所属**  
直通(5662)1993

須賀 清次 東葛西4-27-13 3688-7001 ⑤

**区議会だより 編集委員会**  
(◎委員長 ○副委員長)

◎田中 寿一  
○竹内 すずむ  
笹本 ひさし  
えぞえ 亮一  
小俣 のり子

**「声の区議会だより」をご利用ください**

目の不自由な方に、本誌のテープ版を発行しています。

ご希望の方は、区議会事務局までお申し込みください。